まちづくりセンターだより

E ま

令和 4 年 (2022) 2 月 発行 〈第 11 号〉 美又まちづくりセンター Tel • fax 42 - 1704

とうふづくり&中華料理入門













2月21日(月)とうふづくり&中華料理入門教室を行いまし た。ミキサーで撹拌した大豆を煮て、温度を確認し、にがりを加 えるタイミングや量を調整しながら4丁の手作り豆腐が出来上が りました。もう一つ豆乳豆腐も挑戦し各自持ち帰りました。後日 豆の風味が良かった。甘みがあって美味しかった。自宅でも作っ てみようと思うと感想が届きました。



また、新原町内の井川和弘さんを講師に身近にある食材を使っ て家庭で出来る中華料理を教わりました。食材の切り方、熱を通 す工夫や食材を入れる順番、火加減や隠し味の使い方などプロの 技を間近で見ることができました。あっという間に出来上がり参 加者からトーフステーキはソースが変わっていて勉強になった。



さつまいもがあるので火加減に 気をつけながら作ろうと思うな どの感想が聞かれました。



- 鶏肉ときのこのソテー
- トーフステーキ
- 中華ポテト









お茶べり会

2月8日(火)お茶べり会を開催しました。 今月は浜田市社協の小谷生活支援コーディネーターを招いて、鬼退治ゲームや言葉当てクイズ、 サランラップの芯を使った体操と輪投げゲーム、お手玉バランスゲームなどバラエティにと んだ内容でした。

バランスゲームは、中心に立てた心棒を倒さないように 1 個ずつお手玉を取り除いたり、逆に 1 個ずつ天秤に載せていくゲームで、お手玉の大きさや置く位置のちょっとの違いで傾くの



で、傍から見ている人は「危ないよ。左側が傾いたで!崩れるで! アーァ崩れた…。もうちょっとなのにねー」と応援も盛んに行われ、面白くて何度も挑戦したくなりました。



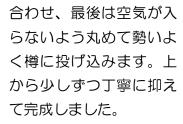






2月18日(金)コロナ感染予防のため、午前、午後の2班に分けてみそづくりを行いました。

初めての参加者や昨年美味しかったからと再挑戦者もあり、糀のほどき方や塩の合わせ方、大豆の混ぜ方を教わりながら、美味しくなーれ、美味しくなーれと混ぜ



今年の秋以降には自家 製の味噌が食べられるこ とでしょう。楽しみです。



白大豆





美又人紹介コーナー

美又在住者やU・Iターンされた方などを紹介

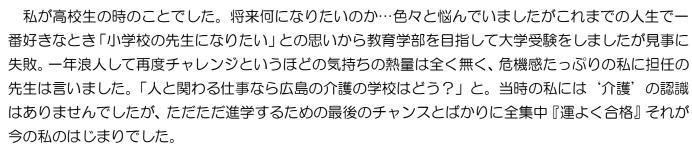
勝 手 久 悦 さん(入野町内会)

1975年(昭和50年)7月30日(水曜日)父俊美 母 久乃 の長男として私はこの世に生まれて参りました。その後なんやかんやで5人兄弟となりました。祖母(故カメヨ)と父母 5人兄弟の8人で楽しく暮らしていました。

24歳で結婚して三人の子どもに恵まれ、その長女と長男は昨年就職しました。バタバタと一気にここまで来

たような感じがして(何かここまで早かったな~)と最近よく思います。

現在は私は介護福祉士として浜田市社協のデイサービスセンターに勤務していますが、今に至ったきっかけをちょっとだけ書いてみます。



ふと昔を懐かしむ…最近増えてきている気がします。(これが老化かな…?)

親たちがいろいろとやってくれてきたことは、地域の活性化のためだったんかな~って。それを考えると〈自分も何かできるかな〉とちょっとだけ思います。本当にちょっとだけ。

地域がどんどん過疎化していき、コロナ禍で活動が制限されて気持ちがネガティブになっていきますが、何か小さな楽しみを気の合う仲間たちと楽しくやりたいな~というのが今の一番やりたいことです (まだプランは全くありませんが…)。

雲城小3年生民具継承館見学

2月15日(火)雲城小学校17名と先生2名が民具継承館を 訪れました。農具や衣服、生活用具、林具の4グループに分

かれて見たり触ったり説明を聞いたりして昔の暮らしについて学習しました。今は自動で動く機械も昔は手作業で、米を食べるまでに沢山の作業があることが分かった。荷物はカバンではなくワラで作った背負う物に入れるのでびっくりした。ソロバンは5玉で大きいのがあった。もっと昔の事を調べてみたいなど感想を述べていました。











① お知らせ

ひな祭り&ミニミニ文化祭のご案内

(お雛様と地域の皆さんの手作り作品の展示を行っています。)

- ひな祭:3月3日(木)お雛様を眺めながら若い頃の話などしましょう。
- ◎ 展示期間:2月17日(木)~3月11日(金)美又まちづくりセンターが開館している時間に 誘い合って見学においでください。



② お知らせ

美又まちづくりセンターの

ボランティア清掃実施のご案内

日 時:3月17日(木)午前9:00~11:00

お手伝いできる方はご協力をお願いします。

初午で艶歌唄った歌手いずこ初午にキンカン求め坂のぼる 横田 雪生

13日書店で可食だりませ、出し地虫に土をかぶせ、越田

せやる武雄

ふるさと学習会のご案内

③ お知らせ

アジアの人たちとの交流をとおした地域の国際理解 ~ 瑞穂アジア塾の活動から~

日 時:3月9日(水) 午前10:00~11:30 場 所:今福まちづくりセンター **公**42-2083

講 師:日高 久志 氏(一般社団法人コミュニティパートナーズ/瑞穂アジア塾 代表)

邑南町は中山間の豊かな自然があり、また農業や福祉が盛んであることから、瑞穂アジア塾では、こういった地域の特性を生かした形で、広い視野で地域の活動を行っていくことを趣旨にしています。国際交流とともに地域での開発教育にも携わってきました。ボランティア受け入れ、スタディーツアー(スリランカ、タイ)国内NGOとの連携(農業研修、フェアトレードによる手工芸品販売)、ミャンマー障がい者の研修受け入れ等、アジア塾設立までの活動紹介や設立以後の活動内容をご紹介します。

地域づくりや福祉、交流人口等、これからの地域の課題に約30年先駆けて取り組んでおられるお話に、ヒントが見えてきそうです。

講師プロフィール: 昭和 29 年 1 月生まれ。平成 2 年 4 月(1990 年)に瑞穂アジア塾を結成。留学生の夏の農業体験、正月の民泊を行う。平成 3 年から日本青年奉仕協会アジア交流計画 1 年間ボランティアとしてタイ国、スリランカの若者を招いて公民館や保育所、老人施設で研修を提供した。その後国内 NGO と連携して、アジアオセアニアの農村青年リーダーの受け入れを実施。その間、スタディツアーや出羽神楽団のタイ公演の実施支援。平成 25 年 5 月に一般社団法人コミュニティパートナーズを設立し、途上国の観光や福祉の協力を行っている。